

# サドコメツキモドキ

*Languriomorpha yamamotoi* (Miwa & Chûjô)  
コウチュウ目・コメツキモドキ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

これまでに確認された個体は、基準標本を含め3個体のみという極めて稀な種であり、本県では1988年にあわら市刈安山で確認されている。今回の調査では確認できず、今後も県内での生息状況を確認すべく、注視が必要である。あわら市刈安山は分布南限である。

## 種の特徴

体長7～8mm。円筒形の体型で、頭部は光沢の強い黒色で弱い金属光沢があり、後頭後縁は赤褐色。前胸背板は橙褐色で弱い金属光沢があり、基部4分の1ほどは黒ずむ。上翅は黒色で強い金属光沢がある。5～8月の採集記録がある。

## 分布

新潟県佐渡、青森県五所川原市、あわら市刈安山で記録されており、いずれも日本海側である。刈安山は落葉広葉樹が広がる低山であり、その中腹で確認された。

## 生息を脅かす要因

詳細な生態が不明なため、存続を脅かす要因の特定は難しいが、自然林の伐採等により、生息環境である落葉広葉樹林が失われることが、生息を脅かす要因となる。里山環境を保全し、安易な伐採等は慎むべきである。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会(1999)、佐々治・陶山(1989)、平野(2012)

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
													○				

# クロジュウニホシテントウ

*Plotina versicolor* Lewis  
コウチュウ目・テントウムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

今回の調査では確認できなかった。分布は広いが、全国的に稀な種とされる。京都府では絶滅危惧Ⅰ類に相当するランクに指定されている。本県でも注視の継続が必要と判断した。

## 種の特徴

体長2.4～3.5mm、背面は黄色と赤の地色で12個の黒斑を有する。照葉樹林、ブナ林等の自然林に生息するとされるが、京都市鞍馬山では竹林から採集されたとの報告もある。

## 分布

本州～九州に分布。県内ではおおい町(旧名田庄村)頭巾山、虫谷で確認されている。今回既知産地での調査が行われたが、確認されていない。

## 生息を脅かす要因

自然林の伐採等が脅威となる可能性があるが、他県で竹林での採集記録も報告されていることから、本県でも生息状況を確認すべくさらなる調査が必要である。

参考文献 福井県自然保護課(2002)、黒沢ら(1985)、京都府自然環境保全課(2015)

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○															

# イノウエホソカタムシ

*Antibothis morimotoi* Sasaji  
コウチュウ目・ムキヒゲホソカタムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

国内では本県と三重県、兵庫県で確認されているのみである。生息状況、生態等の知見が不足しており、調査の継続が必要である。

## 種の特徴

体長3mm内外。円筒形の体型で、体背面は赤褐色。詳細な生態は不明。県内ではコナラやミズナラ等の林で採集されている。

## 分布

国内では本県と三重県でのみ採集されている。県内ではこれまで南越前町上牧谷で記録があり、今回の調査では大野市上大納と小浜市おにゅう峠でも生息が確認された。

## 生息を脅かす要因

ナラ枯れ病が収束し、新鮮な枯死木が減少したことで、本種の生息に影響が及んでいる可能性があるが、本種の生態、生息環境に関する情報が不足している。継続調査による生態、生息環境に関する知見の集積が望まれる。

参考文献 福井県自然保護課(2002)、福井県自然環境保全調査研究会(1999)、青木(2009)

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
					○			○								○	